

会 議 要 旨

会議名	平成26年度 第1回館山市文化財審議会
開催日	平成26年6月30日(月) 午後1時30分から3時20分
開催場所	館山市コミュニティセンター第1学習室
出席者	文化財審議会委員 6名 教育委員会次長、事務局 4名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付</p> <p>3. 忍足俊之教育委員会次長あいさつ</p> <p>4. 役員選出</p> <p>5. 会長あいさつ</p> <p>6. 報告事項</p> <p>(1) 国史跡「里見氏城跡 稲村城跡」保存管理計画について</p> <p>(2) 県指定有形文化財(建造物)「那古寺多宝塔 附木造宝塔」保存修理補助事業について</p> <p>(3) 市指定有形文化財(建造物)「小谷家住宅」保存修理補助事業について</p> <p>(4) 市指定無形民俗文化財「神余日吉神社のかっこ舞」用具修理について</p> <p>(5) 「洲崎灯台」の国有形文化財(建造物)登録について</p> <p>(6) その他</p> <p>国史跡「里見氏城跡 稲村城跡」区域内のき損についての対応、六軒町のサイカチの木の保存について、他市内文化財の調査について事務局が報告した。</p> <p>質疑応答・意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲村城は里見の象徴的な城なので、館山城なども含めて利用計画を作ってほしい。 ・整備計画は館山市と南房総市で作成するよう指摘がある。今後は他の里見の城跡を持つ市町村とネットワークを作る必要がある。 ・現在は、見学はできるが城跡があることがわかる程度なので、駐車場やトイレなども含め整備をしていく必要がある。 ・国も文化財を観光に活用していくことに熱心だが、はじめに観光ありきでは必ず失敗する。文化財を軸にして地域の産業が守られるよう

	<p>に計画し、整備・活用していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none">・多宝塔は以前修理をしているので初めは修理対象ではなかったが、木造宝塔とともに調査をしたところ白蟻の被害が見られた。文化財は、場所や材質によっては被害を受けやすいので何年かごとにチェックする必要がある。・小谷家は解体後に修理方針を決め、総事業費が確定する。復元の時期をいつに設定するかは、どう扱っていくかといった基本方針に関係してくる。・今年度は、文化庁の補助金対象外となったため、神余のかっこ舞は映像記録・解説書の作成は行わず、衣装の新調・用具の復元を実施する。・公共の施設は関東大震災の被害状況が記されているので、洲崎灯台についてもあるかもしれない。写真帳や記録を確認してほしい。 <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--